

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校

学校だより

令和3年

6月15日 文責:平松紀子



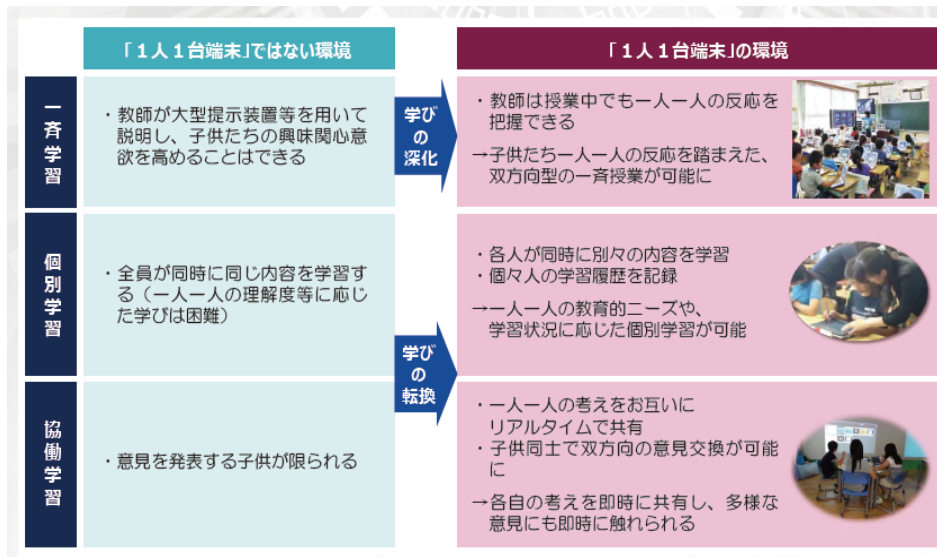
◆GIGA スクール構想の実現に向けて

今学校では、GIGA スクール構想の実現に向けて急ピッチで ICT 環境が整えられています。1人1台ずつタブレットをもって学習するというのをお聞きになったことがあるかと思います。今後は、端末(タブレットなど)を利用して、授業はもちろん、自宅学習でも端末を活用して学びを深めていくことが求められています。Society5.0 の時代を生きる子供たち。情報活用能力の育成をしなければなりません。

そこで、私たち教職員もどのような場面で、どのように使っていけばよいのかを、教育委員会の木場指導主事をお招きして研究会を行いました。教師役と生徒役になって意見を集めたり、カメラを使ってプレゼンテーションの仕方を習ったり、様々なことを学びました。早速、先生方も授業の中で使っているようです。(ホームページの Pick UP をご覧ください) まずは、何度も手に取ってできることを増やしていくことから始めたいと思っ



ています。今後も授業でどのように生かしていくのか研究を行っていきます。これから使うときのルールについても考えていきます。端末を家へ持ち帰るようになる時には、ルール等と合わせて改めてお知らせいたします。



← (文部科学省リーフレットより)

◆少年の主張大会



6月13日(日)、平戸文化センターで少年の主張大会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のため議場からの発表となりましたが、今年度は新型コロナ対策のもと少年の主張大会が開催されました。生月小学校代表は、6年生です。表題は「私たちの海を取り戻すために」です。海岸に流れ着く多くのごみを目の当たりにして、なぜごみが多いのか、どうしたらごみを無くしていけるのか考えたことを堂々と発表してくれました。自分で出場を決め、昼休みや放課後、家でも練習を重ね、最後まで頑張った6年生の挑戦に拍手を送りたいと思います。

◆イチゴ農家さんの仕事



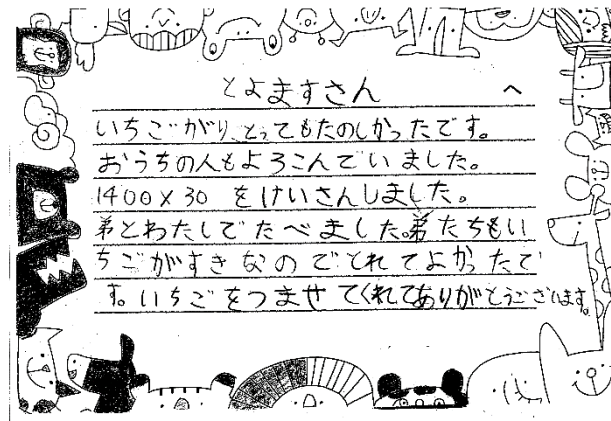
1・2年生は、11日に、生月町でイチゴ農家をされている豊増常之さんのところで「イチゴ狩り」を行い、「イチゴ作りについて」のお話を聞きました。「イチゴはなぜ赤くなるのか」や「イチゴに近づく虫は、どんなものがある

のか」などたくさん質問に、豊増さんは丁寧に答えてくださいました。ミツバチに受粉をしてもらうのでミツバチが過ごしやすい温度にしたり、イチゴが育ちやすい快適な温度にしたりしていることを教えてもらいました。イチゴの秘密をいっぱい知ることができ、楽しく学習できました。



イチゴの花びらは、これまで5枚だと思っていました。でも今回イチゴの花をよく見ると5枚、6枚、7枚、8枚まで見つけました。新発見にびっくりです。

調べてみると、やはり基本は5枚ですが、7枚や8枚などもあるということでした。花びらの枚数が多いと大きなイチゴの実になるそうです。子供たちとも「すごいね。」と話しました。百聞は一見に如かず。実際に見学して学習したことでした。



5年生も、14日にイチゴ狩りをし、イチゴの仕事に少し触れることができました。7月上旬には、豊増さんを学校にお招きして、イチゴ農家の仕事についてお話していただくことになっています。

◆探しています



平戸図書館の左の本が行方不明になっています。ご家庭の本棚やお子さんの机の上にはないでしょうか。子供たちにも「おうちを探してみてください」と話しています。本探しにご協力をお願いします。

6月19日(土)から25日(金)まで、生月小学校の教育週間です。20日は、第3日曜日の「家庭の日」でもあります。親子読書で家族の絆を深めましょう。24日の授業参観お待ちしております。

学校・家庭・地域みんなで子供の「ココロのねっこ」を育てましょう。